

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
89
2023
summer



旬の文化が集うコミュニティマガジン

季刊

ブンカ

BUNKA VOL.89 2023.6.15

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-2288 <https://www.hhl.jp>

 (公財) 福井県文化振興事業団



Interview

社会の中で生きる
アーティストの使命とは

アーティスト 大久保彩子氏



ハーモニーホールふくい

小刀根トンネル(敦賀市)



とんがり屋根が印象的な敦賀鉄道資料館は、旧敦賀港駅舎を模したものだ。敦賀の鉄道の歴史や鉄道資料が展示されている。(敦賀市港町1-25)



敦賀鉄道資料館
小刀根トンネル(敦賀市刀根)
アクセス/JR敦賀駅から車で約20分
●日本遺産構成文化財
●敦賀市指定文化財
●JR西日本登録鉄道文化財
●土木学会選奨土木遺産

日本人技術者による
現存最古の鉄道トンネル

小刀根トンネルは明治14(1881)年に建設された北陸線のトンネルで、日本人技術者が建設し、改修されずに残るものとしては日本最古です。全長は56メートル、内部は高さ4・72メートルに幅4・27メートル。日本で最大の生産台数を誇るD51形蒸気機関車は、このサイズに合わせて設計されました。

敦賀のシンボル敦賀港は、古来、大陸への玄関口として重要な役割を果たしてきました。明治政府は日本初の鉄道4路線の一つとして琵琶湖-敦賀間の鉄道建設を決定、明治5年には日本海側の鉄道路線が開通します。そして明治45年には、東京から敦賀港を経て連絡船でウラジオストクへ渡りシベリア鉄道でペルリンに至る欧亜国際連絡列車の運行が始まりました。

来春には北陸新幹線が敦賀駅まで開業。訪れた折には、古のトンネルにもぜひ足を延ばしてみてください。内部の煤けたレンガから、当時の人々の汗と涙が感じられるはずです。

※表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 Essay 食文化振興のトップランナー 若狭おばま 文 朝倉由希氏
- 3 Interview 社会の中で生きる アーティストの使命とは フルーティスト 大久保彩子氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 越のルビーアーティスト 旭井翔一氏(作曲家)
- 10 私の好きなハーモニーホールふくい 沖澤のどか氏(指揮者) / カーテンコール
- 11 アートシーン 浅野桃子氏(美術作家・アートコーディネーター)
- 12 アートの息吹 ホリタ文具の『ホリラボ』(坂井市)
ふんかの足跡 加古里子氏(絵本作家・児童文学者)
- 13 2023年7~9月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 14 Information

Essay

食文化振興のトップランナー
若狭おばま

文 朝倉由希



あさくら ゆき ●福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

「山に近ければ山を食い、海に近ければ海を食う」という言葉がある。太古から人は各地の自然環境や気候条件に合わせて食べることで、命をつないできた。土地の恵みである食材を採取し調理する方法、保存の技術、共に食べるための器や空間、盛り付け方など、あらゆる面において工夫や創作を重ねることで、風土を反映した多様な食文化が生み出されてきた。



食のまちづくりの情報発信基地となる「御食国若狭おばま食文化館」

化の往来も盛んになされた。地域に根付いた伝統行事には、食が密接にかかわっている。小浜市は、このような食にまつわる歴史文化を地域の特色としてまちづくりに活かしてきた。全国でも例のない「食のまちづくり条例」を制定したのは2002年のこと。翌2003年には、「御食国若狭おばま食文化館」を開館した。食は、健康に関わるのはもちろんのこと、自然環境の保全、食育、伝統文化の継承、農林水産業、観光振興、地域経済活性化など、あらゆる分野に関わる。単なる「美味しいもので地域おこし」ではない、食を核にすえた総合的なまちづくり政策は、全国的に見ても先進的だ。

さて、2023年3月、若狭と歴史的に繋がりが深い京都に、文化庁が本格移転した。すでに2017年から先行移転していた文化庁は、さらなる地域の特性を生かした文化振興を掲げ、とりわけ食文化の振興に重点的に取り組む姿勢である。「和食…日本人の伝統的食文化」が

フルーティスト

大久保彩子

Ayako Okuba

社会の中で生きる
アーティストの使命とは



おおくぼあやこ ●オランダ・アーネム音楽院を経て、アムステルダム音楽院卒業。2006年度、ローム・ミュージックファンデーション奨学生として渡仏、ストラスブール国立地方音楽院に在学。2008年、同音楽院を最高位で修了。以降、室内楽奏者やソリストとして、ヨーロッパを中心に世界各地で幅広く活動している。2010年からアンサンブルHANATSUmiroirアーティストティック・ディレクター。現在までに多くの作曲家に作品を委嘱・初演するほか、各国の現代音楽フェスティバルにて現代アートとコラボレーションした舞台作品も数多く発表している。福井市出身、フランス在住。越のルビーアーティスト。

フルートに打ち込んだ子ども時代

8月末に5日間を通してハーモニーホールふくいで開催される「おと・ラボ」は、子どもや家族で参加できる音のラボ＝実験室。この「おと・ラボ」を企画し、出演もするのがフルート奏者の大久保彩子さんです。フランス在住、現代音楽の演奏活動とともに、子どもからお年寄りまで様々な年代の人に向けたアトリエの開催や、福祉施設でのアウトリーチコンサートなど音楽を

通した社会活動を積極的に展開しています。

そんな大久保さんは福井市出身の越のルビーアーティスト。フルート奏者である父の大久保功治さんのもとでフルートを学びました。

「最初に習い始めた楽器は、実はヴァイオリンなんです。小学校のクラブ活動でマーチングバンドに入り、そこで何か楽器を、となった時に家にあるからとフルートを選びました。本格的にスタートしたのは中学校に入ってから。父と、東京在住の小泉浩先生について学び始めました」

高校は福井県内の公立高校に進学。学校生活のかたわら、国内のコンクールを受けたりと音楽家への道を進み始めます。

「フルート奏者以外の道はまったく考えていなかったというか、考えなくてもよかったです。それくらい自分がやりたいこととやれる環境が一致していた。自分が何をすべきなのか、何をしたいのかということについて本格的に考えるように

なったのは、ヨーロッパに渡ってからです」

オランダで出会った新しい音楽のあり方

高校卒業後、高橋真知子先生の招きでオランダ・アーネム音楽院へ。その後アムステルダム音楽院に入学し、クラシック音楽の基礎をみっちり学んだ大久保さん。在学中2年間、教育プログラムの中で、自分で企画を考え人を集めて実践するという経験も積みます。この時の「音楽が社会とどう関わっているのか」という問題意識が、現在の「おと・ラボ」の活動に繋がっているのは間違いありません。

またアムステルダムでは、クラシックではない新しい音楽に打ち込んでいる人たちの出会がありました。

「クラシック音楽は、歴史的なスタイルをいかに突き詰めていくのが、大切です。現代音楽はそういうあり方とはまったく違うもので、そこに衝撃を受けました。私はなぜ音楽をやっているのか、本当はどういう音

楽をやりたいのかについて徹底的に考え、出した結論が「現代音楽を追求していきたい」ということでした」

こうして大久保さんは、フランスのストラスブール国立地方音楽院大学院へ駒を進めました。

多様性社会で感じる文化の重要性

現在は、一児の母としてフランスで生活を送る大久保さん。生活面での日本とフランスとの違いは、とたずねるとこんな答えが返ってきました。

「息子の通う小学校では、両親共に白人でフランス国籍を持つという子の方がマイノリティだったりします。アイデンティティもバックグラウンドも違う子どもたちが集まり、みんながフランスに住んでいる子どもたちとして育てられている。また、大人が集まれば政治や環境や人権といった社会問題について何時間も話し合います。日々の生活と社会問題が密接にリンクしていて、多様

な社会の中で生きるということを考える機会がとて多いと思います」

ただ演奏をするだけでなく、社会にどのように還元できるかを考えていくことがアーティストとしての使命だと語る大久保さん。「おと・ラボ」はそんな大久保さんの想いが生み出した、これまでにないフェスティバルとなりそうです。

構成・文／室田尚子
(音楽評論家)



舞台装置を運ぶような部分も演出の一部に取り込んでしまったり、舞台上をうごき回って演奏したりと、「常識的な発想」にとらわれないスタイルとサウンドで原作の世界観を表現した子供向け音楽劇「不思議の国のアリス(2021年制作)」。

協賛: 福井新聞社 ますも証券

8/23(水)~27(日)

おと・ラボ
いろいろな音をつくってきいてみよう~

大ホールエリア
講師・出演/フルート:大久保彩子
パーカッション:オリビエ・モーレル
アシスタント・出演/パーカッション:川村法子、フルート:三屋 風

※詳細はP.6へ



フルート：大久保彩子 ©Gregory Massat
パーカッション：オリビエ・モーレル ©Gregory Massat



乳幼児向けのオペラ作品も上演
みんなと一緒に体験しよう



最後はコンサートに出演も！
家族で参加して思い出づくり

協賛：福井新聞社 ますも証券

おと・ラボ
～いろいろな音をつくってきいてみよう～

8.23(水)～27(日)

大ホールエリア
講師・出演/フルート：大久保彩子
パーカッション：オリビエ・モーレル
アシスタント・出演/パーカッション：川村法子
フルート：三屋 風

各ラボ有料 チケット発売中

「大人・ラボコンサート」「ファイナル・コンサート」以外の参加者募集開始は7月1日(土)10時～専用フォームにて

「音」の実験場へようこそ！
家族で楽しむ5日間

オブジェや手作り楽器を通して「音」が生まれてくる体験をする「おと・ラボ」。フルート奏者の大久保彩子がフランス各地で展開するこのプロジェクトを、ここ福井で5日間のフェスティバルとしてお届けします。

赤ちゃんのためのオペラ「ペ・ラボ」、小学校低学年から参加できる「キッズ・ラボ」、家族みんなで参加の「ファミリィ・ラボ」、大人の語り場とコンサート

日程	23日	24日	25日	26日	27日
10:00	ベベ・ラボ	ベベ・ラボ (各回10人 ¥2,000) 対象:0~2歳	ベベ・ラボ	ベベ・ラボ	ベベ・ラボ
10:30					
11:00	キッズ・ラボ①	キッズ・ラボ②	キッズ・ラボ③	キッズ・ラボ④	キッズ・ラボ⑤
11:30					
12:00					
12:30					
13:00					
13:30					
14:00	ファミ・ラボ #音さがし	ファミ・ラボ #音のかきかた	ファミ・ラボ #音のみらい		音の行進
14:30					
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					
17:00					
17:30					
18:00					
18:30					
19:00		大人・ラボ 語り場 (¥2,000) 対象:教育関係者等 20人程度		大人・ラボ コンサート 観賞¥2,000 対象:小学生以上	
19:30					
20:00					

トから成る「大人・ラボ」。そして最終日にはキッズ・ラボ参加者とアーティストが一緒に「ファイナル・コンサート」を作り上げます。「体験」が「音楽」へと結びつくプロセスを楽しめる。これまでにない教育プログラム。ぜひご家族揃って、お越しください。

協賛：福井銀行 福井新聞社

ローレンス・レネス指揮
東京都交響楽団
ヴァイオリン：服部百音

9.28(木)

18:15開場 19:00開演/大ホール
S席・車いす席 ¥10,000 A席 ¥8,000
B席 ¥6,000 バックシート ¥4,000
(小～大学生:半額) 特別協賛会員 2割引

出演/指揮:ローレンス・レネス、ヴァイオリン:服部百音
管弦楽:東京都交響楽団
曲目/ブラームス:ヴァイオリン協奏曲、交響曲 第4番
(協力:FBC、(公財)坂井市文化振興事業団、大野市)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛:6/20(火) 友の会:6/21(水)
一般 6/24(土)



指揮:ローレンス・レネス ©Mats Backer
ヴァイオリン:服部百音 ©YUJI INAGAKI



管弦楽:東京都交響楽団

超一流の音楽家が魅せる
クラシック音楽の真髄

東京都交響楽団(以下、都響)は日本のトップクラスに君臨するオーケストラとして知られており、また、首都東京の音楽大使として海外公演も多数行い、高い評価を得ています。そんな都響がハルモニーホールふくいにやって来るのは、なんと10年ぶり。ドイツ・ロマン派の王者ブラームスのヴァイオリン協奏曲と交響曲第4番という、クラシック音楽の真髄を堪能できるプログラムを聴かせてくれます。

ヴァイオリン協奏曲のソリストは8歳でオーケストラと初共演、10歳の年にポーランドのリビンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールで史上最年少の1位と特別賞を獲得し、世界デビューした服部百音。国内外での活躍は、まさに「飛ぶ鳥を落とす勢い」という言葉がピッタリです。一方で、恐竜好き、という彼女のキャラクターを感じることもできる一面のほか、父・服部隆之、祖父・服部克久、曾祖父・服部良一という音楽一家に生まれ育った背景も持つ彼女。家庭内での何気ない

コミュニケーションでも音楽の話題が表われてくるそうです。これまで、数々の一流オーケストラと共演を重ねてきた服部ですが、都響とはこれが初顔合わせ。彼女の方からブラームスのヴァイオリン協奏曲をオファーして都響が快諾、それに合わせて交響曲第4番を選んだ、というエピソードからは、共演前にしてすでに相性の良さがうかがえるといえるでしょう。

その両者を牽引するのはマルタオランダ人指揮者のローレンス・レネス。スウェーデン王立歌劇場の音楽監督を5年間務め、また昨シーズンはフィルハーモニア管弦楽団やマラー室内管弦楽団などと共演するなど、オペラとオーケストラ音楽双方のジャンルで活躍しています。都響とはこれまでも共演を重ねてきており、信頼関係も充分。

超一流のオーケストラと天才ヴァイオリニストが紡ぎ出す、ブラームスのロマンティックで芳醇な音楽世界をいち早く体験できる機会。お聴き逃しなく！

作品紹介

ある特定の演奏家のため書かれた名曲は数多くありますが、ブラームスが残した唯一のヴァイオリン協奏曲もそのひとつ。当時ヨーロッパ随一と名高かったヴァイオリニストのヨアヒムのために書かれています。高い演奏技巧が要求される曲として知られており、ヴァイオリンとオーケストラが一体となった、交響曲のような趣を持った作品です。

ブラームスは、尊敬するベートーヴェンの後を継ぐという想いで交響曲を書きました。最後の第4番は、第2楽章に教会旋法が用いられたり、第4楽章がバッハのカンタータに基づいていたりと、ある意味で保守的なスタイルを持っていますが、そこには紛れもなくブラームスならではの音楽が息づいています。第1楽章の最初に登場するため息をつくような主題を聴いただけで、他のどんな作曲家とも違う、独特のロマンティズムを感じることが出来ます。



DUO2

名手達が奏でるギターが今、あなたを包み込む
日本を代表する4人のギタリストが、ブラームスからピアソラまでをデュオでお届けするスペシャル企画。四者四様の音楽が組み合わさって生まれる、豊かで奥深いギター音楽の世界をご堪能ください。

協賛: **Konica** 興和江守株式会社
荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司
ギターの饗宴“DUO×DUO”
10.20 金
18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥4,000 (小~大学生:半額)
出演 / ギター: 荘村清志、福田進一、鈴木大介、大萩康司
曲目 / モリコーネ(鈴木大介編): ニュー・シネマ・パラダイス
グラナダス(荘村清志編): スペイン舞曲 第2番「オリエンタル」 ほか
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 7/25(火) 友の会: 7/26(水) 一般: 7/29(土)



ピアノ: 徳永雄紀

イタリア留学で成長した徳永雄紀がその真価をみせる
幼少時から数々のコンクールで優秀な成績を収め、「天才ピアニスト」として活躍してきた徳永雄紀。名門校イモラ国際ピアノアカデミーでの留学を経て、このほど、単独リサイタルをお贈りします。ロシア音楽を中心にロマン派のプログラムでその成果を披露します。

協賛: **福井新聞社** **FBC** **福井テレビ**
徳永雄紀 ピアノリサイタル
7.14 金
18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000 (小~大学生:半額)
出演 / ピアノ: 徳永雄紀
曲目 / ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第31番
シューマン: クラリスレリアーナ
ラフマニノフ: コレリリの主題による変奏曲 ほか
チケット発売中



ピアノ: 横山幸雄

名手・横山幸雄が贈る音楽とお話
日本を代表するピアニスト横山幸雄。レストラン経営も手がけ多岐に渡り活躍しています。そんな横山が、昼の部で「音楽と食」、夜の部では、シヨパンをテーマに解説と演奏をする、まさに「贅沢な」企画です。

協賛: **東興** **福生堂**
ピアニスト横山幸雄と過ごす贅沢なひととき
11.12 日
2回公演 ①13:00開場 13:30開演 80分(休憩なし)
②16:00開場 16:30開演 60分(休憩なし)
全席自由 ①¥3,000(スイーツ付) ②¥2,500(クラシック音楽アカデミー参加者:¥2,000)
出演 / ピアノ: 横山幸雄
曲目 / ①ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第14番「月光」、リスト: ラカンパネラ ほか
②シヨパンバラード 第1番、ポロネーズ 第6番「英雄」、幻想即興曲 ほか
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 8/22(火) 友の会: 8/23(水) 一般: 8/26(土)



アルト・サクソフォン: 岩本智美
ピアノ: 田島詠依乃
ピアノ: 前田琴羽

ここから未来へ 10代の才能が羽ばたく
オーディションで選ばれたアルト・サクソフォンとピアノの3名が夢の舞台を踏みます。前半はソロ、後半はプロの弦楽四重奏との共演で、若い才能が未来への一歩を踏み出すステージをお楽しみに。

共催: **福井新聞社**
若い芽コンサート2023
8.5 土
18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席自由・車いす席 ¥1,000 (小~大学生:半額)
出演 / アルト・サクソフォン: 岩本智美、ピアノ: 田島詠依乃、前田琴羽
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン: 松谷由美、若上杏子、ヴァイオリン: 山口梨恵、チェロ: 荒井結)
曲目 / 第1部: ソロ・ステージ、第2部: 弦楽四重奏との共演ステージ
チケット発売中



ダンス: デイヴィッド・ギーニー

ケルト音楽で綴る一足早いクリスマス
2021年の来日公演が延期となったターウィッシュが、ついに福井に登場! 新時代のステップ・ダンスとして活躍するデイヴィッド・ギーニーと共に、アイリッシュ・ケルト音楽の醍醐味をお届けします。

協賛: **武生特殊鋼材株式会社**
ケルティック・クリスマス2023
アイリッシュ・トラッドの最高峰ターウィッシュ
11.25 土
14:45開場 15:30開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥5,000 (小~大学生:半額) ペア券 ¥8,000
出演 / ターウィッシュ(ヴォーカル: パウロン・キーン、ジョー・ダグ、マドリン・ブライアン・マクドナルド、フルート: アム・ケリー、フイドル: トム・モロウ、アコーディオン: シェーン・ミッチェル、ブズーキ: マイケル・ヘルムス)
ダンス: デイヴィッド・ギーニー
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 8/22(火) 友の会: 8/23(水) 一般: 8/26(土)



ヴァイオリン: 山本紘子

ひたむきに、まじめに音楽に捧げた魂が奏でる世界
勝山市出身・在住の山本紘子は日本音楽コンクールや大阪国際音楽コンクール入選の受賞歴を持つ実力派。今回の演奏会はフランクのヴァイオリン・ソナタを中心にした王道プログラムで臨みます。

協賛: **福井新聞社** **FBC** **福井テレビ**
山本紘子 ヴァイオリンリサイタル
脈動~原点から未来へ~
9.1 金
18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000 (小~大学生:半額)
出演 / ヴァイオリン: 山本紘子、ピアノ: 竹沢友里
曲目 / J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番
C.シューマン: 3つのロマンス op.22、フランク: ヴァイオリン・ソナタ ほか
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 6/20(火) 友の会: 6/21(水) 一般: 6/24(土)

協賛: **公財)げんでんふれあい福井財団**
ハーモニーぴくにくっ
こんにちは、あなたはだあれ?
7.2 日
2回公演 ① 9:30開場 10:00開演
② 11:30開場 12:00開演
大ホール
全席指定・車いす席 ¥500 (0歳~高校生:¥100)
出演 / ピアノ: 高橋かほる、オルガン: 山本真希
クラリネット: 南部匡恵、マリンバ、パーカッション: 平岡愛子
チケット発売中

小野リサ ボサノバ・コンサート2023
9.9 土
15:00開場 15:30開演 / 大ホール
全席指定・車いす席 ¥6,000 (小~大学生:半額) ペア券 ¥10,000
※ハーモニーホールふくいチケットセンターのみ取扱い
出演 / ギター、ヴォーカル: 小野リサ、ジャズトリオ (ピアノ: 林正樹、ベース: クリス・シルバースタイン、ドラム: 齊藤良) (主催: 福井新聞社)
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 6/20(火) 友の会: 6/21(水) 一般: 6/24(土)



ソプラノ、プロデューズ: 増田朱紀
ピアノ: 竹内真紀

劇団四季OGがプロデュース! キッズが楽しむ歌の世界
恒例「ステージできく」コンサート。今回は、劇団四季で「キャッツ」等の出演経験もあるソプラノの増田朱紀がプロデュースする情感豊かな歌の世界をお届けします。共演はテノールの宇都宮直高とピアノの竹内真紀。一般公募のママパパディレクターズも制作に参加します。

協賛: **日華化学**
秋の子ども音楽会
「ステージできく」コンサート(仮題)
11.3 金・祝
2回公演 ①10:30開場 11:00開演 ②12:30開場 14:00開演
大ホールステージ
ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000 (0歳~高校生:半額)
出演 / ソプラノ、プロデューズ: 増田朱紀、テノール: 宇都宮直高
ピアノ: 竹内真紀、制作補助: ママパパディレクターズ
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 8/22(火) 友の会: 8/23(水) 一般: 8/26(土)



私の好きな

ハーモニーホールふくい



沖澤のどか (指揮者)

おきさわのどか ●2018年東京国際音楽コンクール優勝、2019年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。2022年3月、ベルリン・フィルを指揮。同年5月ベトレンコとともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。国内では主要オーケストラを定期的に指揮。京都市交響楽団常任指揮者。



田園の中に浮かぶように現れる「ハーモニーホールふくい」。ホールから見渡せるノスタルジックな風景が、ツアーで各地を回る海外オーケストラの束の間の癒しとなっている。

田園の中に現れるホールの外観が好きです。長閑で、福井の音楽の原風景と感じます。玄関は堂々とした佇まいで、楽屋は空間が広く風通しも良い。天井の広いホールは響きが柔らかく、音が良くまとまって素敵です。私は青森県出身で、リンゴ畑や田んぼの土の匂いがする原風景が心の中にあります。海外に出

て、故郷への想いが一層強くなりました。チェコの肉屋兼宿屋生まれのドヴォルザークの作品は素朴さや田舎ならではの歌心が魅力。特に「新世界から」はアメリカからの郷愁に共感できます。ヤナーチェク・フィルは深く歌い、光夏多ちゃんも豊かに歌う。ホールの効果も相まって、素晴らしい演奏会になることでしょう。

(コンサート直前の楽屋にて)

心の原風景を感じられる場所



福井ゆかりの音楽家

越のルビーアーティスト 旭井翔一 (作曲家)



あさいしょういち ●福井市出身・在住。東京藝術大学卒業。身長192cm、体重120kg以上。近作には広上淳一、オーケストラ・アンサンブル金沢によって初演された「雲煙繚渺」など。また、山田和樹、反田恭平、ばんだウインドオーケストラにより演奏された「ラブソフィー・イン・ブルー」に編曲で参加。受賞歴は第23回朝日作曲賞(合唱)、現音作曲新人賞(賞状賞)ほか多数。

人との出会いを広げ、ジャンルを超えた新しいケミストリーを。

作曲家として、多彩なジャンルのプレイヤーと共演する旭井さん。「聴く音楽は、クラシック音楽、ジャズ、メタル、民族音楽やブラックミュージック、最近ではヒップホップ」と実にボーダレス。「クラシック音楽を軸にしつつも、いろんな音楽の旨味を取り入れて、曲を聴く

前後では全く違う感覚を得られるような、形容しがたい新たな体験ができる音楽を生み出すことが目標です」と語ります。作曲家を志したのは、小学6年生の時。同じ学校の1年生がピアノの全国大会で優勝し、演奏者として小さな挫折感を覚えたのが契機でした。「でも、やっぱり音楽は好きで、その頃作曲のまねごともしていたので作曲家を目指すことにしたんです」東京藝術大学では、先生から体格差による演奏の違いを指摘されたのが印象的だったそう。「192cmの僕と他の人では、演奏時の体の動きが違う。今も、そこを意識しています」。精力的に学外活動も行いながら出会いを広げていき、卒業後は、フリーの作曲家として活動。2012年に、宮沢賢治の詩の世界を表現した幻想的な作品で、朝日作曲賞を受賞しました。2019年、Uターンで活動拠点を福井に。コロナ禍と、都会から少し離れた気持ちは重なったのがきっかけでしたが、

戻ってみると「水も空気も食事も、改めて福井があっている」と実感。さらに、「実は音楽的に刺激的な取り組みをしている福井をもっと知ってもらえるよう、地元から発信していきたいという想いもありました」と言います。「福井には優秀な音楽家が多い。それはハーモニーホールふくいのような発表の場があることが大きいですね」と旭井さん。「これからもっと思いもつかないようなおもしろい人が福井から出ると期待しているし、僕自身もそうありたいです」とほほ笑みました。



2022年7月7日サントリーホールにて開催された「イマジネータコンサート」。サクソフォン奏者の住谷美帆氏(写真中央)演奏のA.ララ作曲「グラナダ」の編曲を担当。写真左はピアニスト・作曲家の山中惇史氏。



2021年2月14日石川県立音楽堂にて開催された「OEK×京響<和洋の響>」。本公演のために公募された新作として旭井さんの作品が採用され、和楽器とオーケストラのための「雲煙繚渺」が初演される。(写真提供:オーケストラ・アンサンブル金沢)

●今後の活動
7月22日 上野耕平&山中惇史デュオ・リサイタル「サクソフォンとピアノのためのソナタ」再演予定(豊川市文化会館)
8月 5日 若い芽コンサート2023 グラスノフ(編曲)で参加(ハーモニーホールふくい)
8月19日 全沢「片町から」にて二台ピアノの新作初演予定

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんてんふれあい福井財団にご支援をいただいております。
公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhf.jp/artistbank/>



カーテンコール



3年振りとなる海外オーケストラ公演は、本場チェコの楽団による「モルダウ」と「新世界から」。よく歌うオーケストラと、繊細で包みこむような、沖澤氏の人柄を表すかのような指揮、そして今を煌めく若きピアニストとの共演に、終演後は拍手喝采でした。

沖澤のどか指揮
ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:矢賀部光夏多
2023年5月6日(土) 開催



中島 洸さん (敦賀市)

オーケストラの重厚な響きが好きで、機会があると聴きに來ています。3歳から始めたピアノは、矢賀部さんと同じ先生。彼女はまだ体もできていない年代で大曲を弾くだけでもすごいのに、プロのオケに引けを取らない演奏でした。合わせる時間も限られる中、素晴らしいかったです。



左から 萬代拓嗣さん 萬代仁美さん (福井市)

10年目の結婚記念日で、子どもを預けて久しぶりに來ました。僕がクラシック音楽が好きで、妻と一緒に來てもらっている感じです。今日はオケはもちろん、ピアノも素晴らしい。娘が2人いるのですが、ピアノを習わせて一緒に聴きに來たら、なんて思っています。

- 3年ぶりの海外オケ、良かったです。(60代/男性)
- 矢賀部さんの将来がとっても楽しみです。はるばるチェコから來てくださったオーケストラに感謝。のどかさんの指揮も素晴らしいかったです。もっと多くのオーケストラを連れてきてください。(70代/女性)
- 耳馴染みのある3曲ですが、重厚な演奏で聴きごたえがありました。コンサートで作曲家を素晴らしいと再認識してしまうのは、指揮者とオケが素晴らしいからでしょうか。(50代/女性)



美術作家・アートコーディネーター 浅野 桃子



表現する醍醐味を伝えるため、常に人と対話する
芸術文化に携わる人と一緒にいるのが楽しい

6年前、福井大学に特任講師として赴任した浅野さんは、初めて訪れた福井の地に強く興味を持ち1年の任期を過ぎても住むことを決めました。「薄暗い曇天の気候に惹かれました。地元の人にはネガティブなイメージを持っているようですが、私は気に入っています。福井の四季に寄り沿った暮らしは物事を落ち着いて考えられ制作に没頭できると思います。」

現在は県内の大学で非常勤講師として学生を指導し、幼稚園では造形クラスを担当。さらには芸術大学受験予備校の講師も務めています。「年齢の境界線を作らないことが、私のコミュニケーションシヨンの考え方。一緒に話をしている意見が異なる時は、向き合おうという気持ちになります。若い人と同じ視線でありたいという姿勢が慕われる理由なのでしょう。」

作家活動も続けています。浅野さんは紙や木という素材を大きく加工せず



福井大学では「地域」「アート」「コミュニティー」をキーワードに講義を行っている。



「顔の奥の、髪の下 マブタノオクノ、ヒダノシタ」。第34回今立現代美術紙展Art Camp 2022 アーティスト・イン・レジデンスでの展示(2022年)。

あさの・ももこ ●1978年岐阜県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程修了。同大学の教育研究助手を経てアートプロジェクトの運営に関わり、2017年福井県へ移住。0歳児から大人まで幅広い世代の美術教育に力を入れている。アーツ&コミュニティふくい代表理事、HAI studio 代表。福井県芸術文化アドバイザー。

■活動報告はこちらから
asano.momoko

アートの息吹

「ホリラボ」はホリタ文具が展開するアートと知育が融合した絵画造形教室。AI社会を生き抜くための自己表現力育成を目指します。教室は1回ごとの予約制で、定員は6人。5歳から8歳の子どものためのいろいろな素材で絵を描いたり工作したりと、平面や立体の造形に取り組みます。兄弟姉妹での参加もありますが、毎回異なるメンバーが自分の制作意図を説明しながら、伝える力や聞く力、認め合い協力する姿勢を養います。カリキュラムは美術大学の教授と考案したもので、用具類はすべて店舗が用意し、スタッフがサポートします。子どもたちは家では難しい大型作品などにも挑戦。親たちはその様子を見守ります。アートを通して未来の子どものために企業ならではの取り組みです。

ホリタ文具の『ホリラボ』(坂井市)



コロナ禍の中では子どもたちのエネルギー発散の場にもなっていたそう。教室の間、親たちは店内を見てまわったり、コーヒーを飲みながら子どもの様子を見守ったりするなどしてリラックスタイムを過ごす。

株式会社ホリタ
文房具を通して子どもたちに「夢を提供する会社」を掲げ、県内に展開する6店舗では個性あふれるワクワク空間を提供。「ホリラボ」はエンゼルランドそばの春江店で、毎週土曜日の午前と午後開催。詳しくは右の二次元コードから確認。
※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。



「ホリラボ」詳細

ぶんかの足跡

加古里子 (絵本作家・児童文学者)

「だるまちゃんシリーズ」など数多くの人気作品を残した絵本作家の加古里子。作品の根底には、幼い頃過ごした旧今立郡国高村(現越前市八幡)での体験があるといわれています。幼稚園への登下校時、兄や姉と別れて1人で歩いていると町の人から温かい声を掛けられ、道草しながら野イチゴをつまんだり、虫を追いかけたり、魚を捕ったり。豊かな自然と人情に囲まれた幼少期を、加古さんは過ごしたのです。

越前市文化センターの壁画「越前山歌」は、使用予定の原画を本人が希望し、て屋外用に描き直したもので、遠く神奈川県のアトリエから心に刻んだ風景だけでなく、村国山と日野山を目指すだるまちゃんたちの行進を描き切りました。加古さんの作品は、文学だけでなく地球科学、歴史学、工学、生物学、化学、天文学など幅広いジャンルに及びます。東大工学部で学んだ知識と徹底した調査・取材、正確でわかりやすい描写と、緻密な構成。作品には将来にわたって変わることのない価値とメッセージが織り込まれています。それが、子どもだけでなく大人にも長く愛される理由なのかもしれません。

【かこ・さとし】
1926年福井県越前市に生まれ、7歳の時、東京に転居。東京大学工学部卒業。工学博士、技術士(化学)。演劇の脚本や、社会的弱者を支援するセツルメント活動にも取り組む。「からすのパンやさん」「どろぼうがっこう」「だるまちゃんシリーズ」など600点余りを発表。「かこさとしからだの本」では、人体のしくみを正確にわかりやすく描いた。2008年菊池寛賞、2009年日本化学会より特別功労賞を受賞。2018年92歳で死去。



加古里子の墓
越前市の引接寺(いんじょうじ)にある加古さんの墓は本を開いた独特のデザイン。境内には加古さんが通った文生幼稚園が建つ。
住所/越前市京町3-3-5(引接寺)
電話/0778-22-0442

第25回『野の花文化賞』受賞者のご紹介 9/24「オープンデイズ2023」内で活動発表があります(11:30頃予定)

味真野茶保存会(越前市)
味真野茶保存会の前身は、平成21年に結成された味真野茶のみ唄を「唄う会」。



茶園の様子

鳥羽谷俳句会(若狭町)
鳥羽谷俳句会は、地元出身の澤本知水・長谷川秋子や、高浜虚子の高弟長谷川かな女など、地域ゆかりの俳人たちが受け継いだ俳句文化を継承されています。



句会の様子

張籠二三枝さん(坂井市)
三好達治や高見順など、坂井市ゆかりの文学者の魅力を伝える活動に取り組む張籠さん。活動のきっかけは、高校教諭時代に「高見順の会」(同氏没後20年を機に発足)の準備会参加を呼びかけられたことです。



ふくい詩祭でのシンポジウムの様子(写真左から2番目)

9/20(水)~24(日)・9/30(土) ハーモニーホールふくい「オープンデイズ2023」開催

- ◆ ホールの魅力や可能性を探ってみよう!「ホール演奏体験」(9/20~22)
◆ パイプオルガンと楽器に親しもう!「オルガン探検&楽器体験」(9/20~22)
◆ 実は芸術作品の宝庫!「アートツアー」(9/23)
◆ パフォーマンスを披露しよう!「オータムフェスティバル」(9/23~24)

その他、第25回「野の花文化賞」受賞者活動発表(9/24)
越のルビーアーティストコンサート(9/30)を開催

お問い合わせ (公財)福井県文化振興事業団 管理グループ TEL.0776-38-8280(9:00~19:00・休館日を除く)



昨年開催のスタンプから

編集後記

「ご無沙汰していたことにも取り組んでいけそう」前号結びの言葉を早速実現してくれたのが原田慶太楼マエストロ。20代作曲家の新作披露、オルガンのサプライズ演奏に続く地元高校生バンドとの大合奏で会場の熱気は最高潮に。楽団員の「witter」には「いつもは、さっ!次の本番!と切り替えられるのになんだか寂しい」と。舞台と客席が一体となった熱狂ぶりが印象的でした。

「ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名」 ※50音順
公演協賛社(2023.4-2024.3)
URALA, CLAD CORPORATION, 日華化学, 福井銀行, 福井新聞社, 福井テレビ, FUKUVI, JAKUETS, 株式会社新内, 福井県民銀行, 福井銀行, 福井信用金庫, FUKUVI, 北陸銀行, 三井物産株式会社

10 竹島 宏夢の世界へお連れします 2023 福井バージョン
大ホール ●13:00開演/●16:00開演
S席:6,500円 A席:5,000円
(当日各500円増)

17 18 (日) (月・祝)
北陸中学校・高等学校吹奏楽部 第20回 定期演奏会
大ホール ●14:00開演
全席自由:500円

17 18 (日) (月・祝)
北陸中学校・高等学校吹奏楽部 第20回 定期演奏会
大ホール ●14:00開演
全席自由:500円

17 第52回 琴と尺八
小ホール ●13:00開演 ●無料
(公財)福井県三曲協会 恩澤

23 (土・祝)
(ハーモニーホールふくい オープンデイズ2023)
オータムフェスティバル2023 他
大ホール ●13:00開演 ●無料

いとうかな ピアノ&エレクトーン教室 発表会
小ホール ●9:45開演
無料(関係者のみ)

ピアノ発表会
小ホール ●13:45開演/●16:15開演
無料(関係者のみ)

24 (日)
(ハーモニーホールふくい オープンデイズ2023)
オータムフェスティバル2023
「野の花文化賞」受賞者活動発表 他

混声合唱団 福井コールアカデミー 第34回 定期演奏会
小ホール ●14:00開演
全席自由:1,000円

28 (木)
ローレンス・レネス指揮 東京都交響楽団 ヴァイオリン:服部百音
大ホール ●19:00開演
S席:8,000円 B席:6,000円

30 (土)
(ハーモニーホールふくい オープンデイズ2023 観月)
観月の夕
●野外ステージ(雨天の場合、大ホール) ●無料

(ハーモニーホールふくい オープンデイズ2023)
白根奈々 & Pulse Du 音の月まつり
小ホール ●14:00開演
無料(要整理券)

19 令和5年度 第74回 福井県音楽コンクール 予選会
(弦楽部門・管楽部門・声楽部門・リコー部門)

20 令和5年度 第74回 福井県音楽コンクール 予選会
(ピアノ部門)

23~27 (水) (日)
(越のルビープロジェクト)
おと・ラボ
いろいろな音をつくってきいてみよう~

26 ミュージックコンサート
小ホール ●10:30開演
無料(関係者のみ)

27 どんぐりの会 ピアノコンサート
小ホール ●9:40開演/●12:40開演
無料(関係者のみ)

9月

1 (金)
(越のルビープロジェクト)
山本絃子ヴァイオリンリサイタル
脈動~原点から未来へ~

1~10 (金) (日)
音楽堂キャリヤ 特別展
「アーティストのあたまのなかや こころのなか」

3 福井工業大学附属 福井中学高等学校吹奏楽部 第17回 定期演奏会

スマイルコンサート
小ホール ●10:00開演
無料(関係者のみ)

9 小野リサ ボサノバ・コンサート2023
大ホール ●15:30開演
全席指定:車いす席:6,000円

第56回 都山流 尺八演奏会
小ホール ●13:00開演 ●無料

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2023.7.8.9]

30 第12回 花与の会 中村はるな×伊藤明美×花田佳奈 ピアノ連弾コンサート

8月

5 (越のルビープロジェクト) 若い芽コンサート 2023
小ホール ●19:00開演
全席自由:車いす席:1,000円

6 沙蘭サマーコンサート
小ホール ●13:00開演
無料(関係者のみ)

8 松谷壮一郎/大宅さおり デュオコンサート 葉月の章
小ホール ●19:00開演
全席指定:車いす席:1,500円

9 第90回 NHK全国学校音楽コンクール 福井県コンクール 小学校の部・高等学校の部

コンサート×おしばい シューマン物語 ~トイメライの世界~

10 第90回 NHK全国学校音楽コンクール 福井県コンクール 中学校の部

11 杉谷恵子先生 メモリアルコンサート vol.2
小ホール ●13:30開演
全席自由:1,000円

12 プチ・コンサート
小ホール ●12:30開演
無料(関係者のみ)

13 北陸中学・高校 ボランティアコンサート
小ホール ●13:00開演
無料(下記アドレスへ要申し込み)

7月

1 松井舞 フルトリサイタル
小ホール ●19:00開演
全席自由:1,000円

2 (越のルビープロジェクト) ハーモニーびくにくく こんにちは、あなたはだあれ?

第8回 フジオカリナ教室 発表会
大ホール ●19:00開演
全席指定:車いす席:500円

8 福井文響楽団 第36回 定期演奏会
大ホール ●19:00開演
全席自由:500円

日本歌曲コンサート
小ホール ●14:00開演
全席指定:車いす席:1,000円

9 Harmony Concert
小ホール ●13:30開演
無料(関係者のみ)

14 (越のルビープロジェクト) 徳永雄紀 ピアノリサイタル
小ホール ●19:00開演
全席指定:車いす席:3,000円

15 16 17 (土) (日) (月・祝)
2023 カワイ ミュージックフェスティバル

21 22 23 (金) (土) (日)
第55回 福井県吹奏楽コンクール (全日コンクール県予選)

29 第55回 福井県吹奏楽コンクール (中日コンクール県予選)

30 令和5年度 福井県合唱コンクール
大ホール ●13:00開演
全席自由:500円

※□部は、当ホールの自主公演でP.3~P.8, P.14に見どころなどが紹介されています。(7/2, 8/23~27, 9/23-24, 9/30の公演を除き、小学生から大学生まで半額) ※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(6/7時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。